

事務事業名		蛸ノ浦地区漁業集落環境整備事業			☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 漁業担い手の育成			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~)		01	06	03	03	04
根拠法令	漁港漁場整備法			☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成9 年度 ~ 平成22 年度 全体計画欄の総投入量を記入							
所 属	部課名	農林水産部 水産課									
	係 名	漁港漁村係	電話	27-3111							
			内線	7158							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・漁業集落環境整備事業の一環として、蛸ノ浦地区の道路、水路、防火水槽、緑地・広場等を整備し、集落排水施設整備事業と併せ住民の生活環境・大船渡湾の水質の改善を図る。 ・事業内容としては、集落道整備L=3,046m、雨水排水路整備L=1,380m、防災安全施設(防犯灯N=5基、防火水槽N=4基)、緑地広場A=3,130㎡である。 ・主な業務は、補助金(国・県)申請、積算、測量設計(委託)、工事(請負)、監理、事業説明会、工事説明会、地権者交渉である。 ・事業費は、工事費、測量設計費、用地補償費、人件費等に支出される。国補助が2分の1、市が起債により2分の1負担する。							全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
総投入量 (千円)							事業費	財源内訳	国庫支出金	310,000	
									都道府県支出金		
									地方債	294,500	
									その他		
									一般財源	15,500	
							人件費	事業費計 (A)		620,000	
正規職員従事人数		2									
延べ業務時間		24,960									
人件費計 (B)		99,840									
							トータルコスト(A) + (B)		719,840		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段 (主な活動)
前年度実績 (前年度に行った主な活動)
・補助金 (国・県) 申請、事業・工事説明会、管理者 (道路、河川) 協議、地権者交渉
・集落道整備L=70m、用地買収A=260㎡

今年度計画 (今年度に計画している主な活動)
・繰越分の用地取得 (登記、支払い) で事業完了。

対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
・蛸ノ浦地区の住民
・蛸ノ浦地区

意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)
・地域内の道路を自動車で通行できる。
・火災時等に水利が確保できる。
・住民が憩うことのできる広場ができる。

結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)
・担い手が確保される。

活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)

名称		単位
ア	事業進捗率 (事業費ベース)	%
イ		
ウ		

対象指標 (対象の大きさを表す指標)

名称		単位
カ	蛸ノ浦地区内人口	人
キ	蛸ノ浦地区面積	ha
ク		

成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)

名称		単位
サ	集落道整備延長	m
シ	消防水利整備基数	基
ス	確保された緑地・広場面積	㎡

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	千 円	0	6,500	40,000	48,940	67,435	0
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円	0	6,500	39,500	47,800	62,300	1,200
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円	0	5	2,015	3,672	5,943	2,422
		事業費計 (A)	千 円	0	13,005	81,515	100,412	135,678	3,622
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	1
		延べ業務時間	時 間	40	1,920	3,840	2,880	2,880	720
		人件費計 (B)	千 円	160	7,680	15,360	11,520	11,520	2,880
トータルコスト(A) + (B)		千 円	160	20,685	96,875	111,932	147,198	6,502	
活動指標	ア	%	56.5	67.3	68.7	81.6	99	99	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	1,249	1,249	1,249	1,249	1,249	1,249	
	キ	ha	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3	
	ク								
成果指標	サ	m	893	893	1,378	1,901	2,772	2,772	
	シ	基	3	3	3	4	4	4	
	ス	㎡	0	0	0	0	2,770	2,770	

事務事業ID	0616	事務事業名	蛸ノ浦地区漁業集落環境整備事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 市内中心部より生活基盤の整備が遅れている漁港背後集落の生活環境改善を図るため、平成8年度に本事業を開始した。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 集落内の人口は減少傾向にある。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地元から早期整備の要望がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 集落内の生活環境を整備することにより、若年層の流出に歯止めがかけられ、地域水産業が活性化する。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 集落内の快適な生活環境の整備を行うもので、市管理の道路、水路、防災安全施設等の公共施設を整備するものである。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象、意図とも妥当であり、見直し余地がない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 本事業は、集落内の状況及び地元要望も踏まえた計画により実施されている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 本事業を廃止・休止することにより、ますます市内中心部との生活環境の格差が生じる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 道路、水路整備事業(建設課)、防火水槽設置事業(消防署) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 漁業集落環境整備事業は国庫補助事業であるが、建設課で行う事業は市単独事業となることから市の負担が大きくなる。 ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 設計及び積算にあたり、断面や使用歩掛については、コスト削減も含め基準に従っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 申請等の事務は手続きを踏んで順次行っており、また、正職員のみでは間に合わない事務作業等については臨時職員を雇用し対応している。 測量・調査・設計や工事等は極力委託・請負としている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 本事業により整備する道路は、極めて公共性の高い施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

事務事業ID	0616	事務事業名	蛸ノ浦地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成22年度は、東日本大震災により、施工途中で被災し、事業繰越となった。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 既設の施設全体が地盤沈下しており、災害復旧事業で既設施設を復旧させた後に本事業を実施することとし、事業休止とする。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林水産部水産課
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 平成22年度は、東日本大震災により、施工途中で被災し、事業繰越となった。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 既設の施設全体が地盤沈下しており、災害復旧事業で既設施設を復旧させた後に本事業を実施することとし、事業休止とする。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
